

平成29年度 再評価委員会

路線名：一般県道 塩屋大曲線(谷口工区)

事業名：道路整備交付金事業

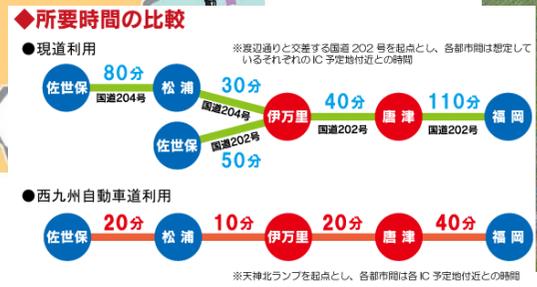
事業地：伊万里市南波多町谷口～古里

(事業採択後10年が経過)

事業目的

西九州自動車道の整備により
福岡方面へのアクセス強化

急カーブで
峠となっており危険



佐賀国道事務所HPより

インターチェンジ整備及び急カーブ解消により

交通の円滑化、安全性の向上

事業概要

- 全体事業費: 16.6億円
- 工期: 平成20年度～平成30年度
- 全体延長: L=1,790m
- 事業内容: 改良工 L=1,790m 橋梁工 N=1橋
舗装工 L=1,790m
測定 1式 用地補償 1式

事業の進捗状況

	平成28年度まで	平成29年度	平成30年度以降
事業費(億円)	12.5	4.0	0.1
進捗率(%)	75.3	99.4	100.0
用地進捗率(%)※	98.0	100.0	100.0

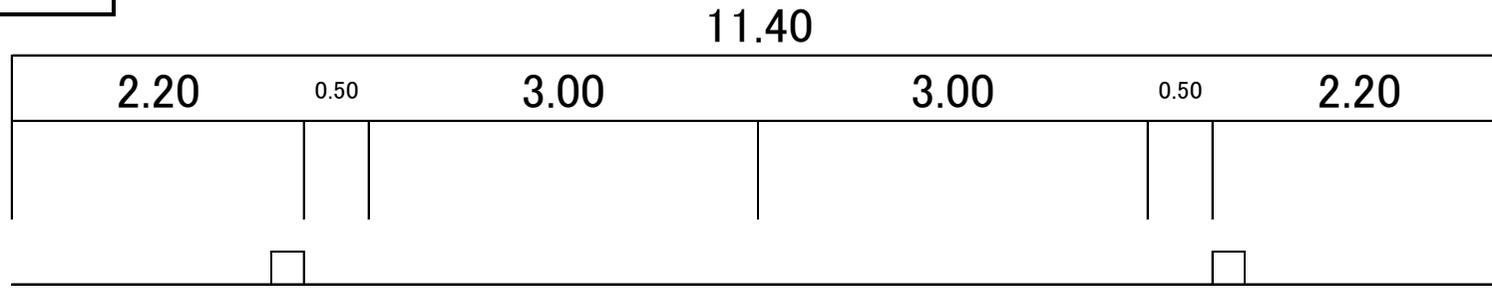
面積ベース

平成29年 現地状況

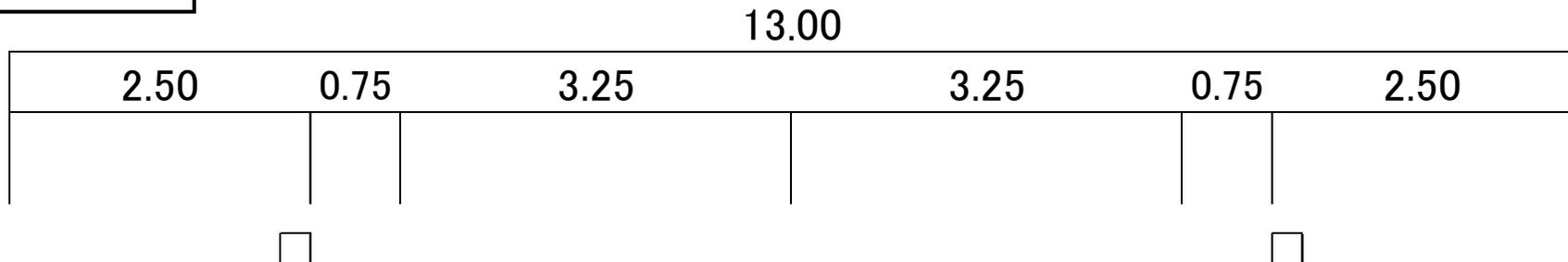


横断図

現況



計画



事業を巡る社会経済情勢等の変化

- ・平成27年2月1日に西九州自動車道北波多IC～南波多谷口IC間の延長4.8kmが供用開始されたことにより、伊万里市～福岡市間の所要時間が短縮した。
- ・平成29年度末には南波多谷口IC～伊万里東府招IC間の延長5.3kmが供用予定。

費用対効果の要因の変化

- 事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。

$$\text{費用便益比 (B/C)} = 90.6 / 19.8 = 4.58$$

【便益】

走行時間短縮便益	=	62.6億円
走行経費縮小便益	=	17.8億円
交通事故減少便益	=	10.2億円
合計		90.6億円

【費用】

事業費	=	18.0億円
維持管理費	=	1.8億円
合計		19.8億円

基準年(平成29年度)における現在価値

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 再生資材の利用促進を図っている。
- 工事で発生する残土を盛土等に流用する。

(代替案の検討)

- 特になし

対応方針(事業課案)

- ・当該箇所の事業の必要性に変化がなく、交通の円滑化と交通安全を図るため、事業を継続したい。